

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 10日(水) 19時 ~ 21時		
市町村名	大町市	グループ名	6班
要 旨			
起点終点変更はあり得るのか。			
変更あるならば白紙に戻すもの。			
豊科インターからつなぐ路線であるという発表は県のまやかし。			
白紙に戻すときは全て取りやめ。皆さんの意見により詳細が決まる。			
決まったら、国土交通省の報告を行うようにして下さい。			
意見交換会により計画や社会にどのような反映があるのか。			
地域での意見を集約して、公表していく。皆の意見を共有しあいたい。その先をどうするか具体的に決まっていない。			
これは県民の望む声なのか。			
道が出来ればかかる費用はいくらか。格下げとなる道の維持費はいくらか。費用や公害などの併害についての資料を出してほしい。			
県の借金が岡山県に次いで全国2位。負担分どこから出すのか。問答集では全ての予算から削るとある。それで潤うのは大手ゼネコンだけで地元には僅かしか落ちない。			
アンケートで「道路整備必要」という意見が6割以上。			
行政の考え方、方針をはっきりしてほしい。			
将来この道が必要なのかを考えることによって、この会も実がある。			
道路だけを考えるでなく、地域のことを考えられるよう話を積み上げていきたい。			
20年先の暮らしを想像することによって考えかたが違ってくる。道路特定財源はどのくらい投入出来るか。高規格道の指定はじまになる。もっと自由に道路を引き、いい地域を作るようにしたい。自分で選んだことに責任を持っていく。			
今回の意見は次回にどう生きるのか。			
生活道と産業道を兼ねる国道の整備も必要。			
親切にこと細かく全て教えてほしい。			
将来は車社会。			
主旨や方針や意義をはっきりして、こういった会を続けて生きたい。			
計画過大。計画投資でないので予算は人件費が削られる。			
次回は20年後、30年後の将来にこの地域で、道だけでなくどうすれば豊かに暮らせるか!歩進んだ考えを話し合いたい。			
道を作る会で、社会保障を充実させるべき。ずっと働いていけるようになってほしい。			